

福祉用具を使って安心生活

歩行に少し不安を感じる時、手にしやすい福祉用具に「杖」があります。身体に合った杖を使用して、安全に外出しましょう。

身体に合った杖を選びましょう

今では量販店でも様々な種類の杖が販売されています。身体の状態や環境に応じて、適したものを選びたいものです。

<p>●多点杖 支持面積が広く安定性が高い。 〈対象〉立位・歩行時のバランスが悪い方、背骨が曲がっている方(介護保険適用)。</p> 	<p>●T字杖 「伸縮型」や「折りたたみ型」の2つの型が主流。色柄が豊富で最も多く使われているタイプ。 〈対象〉杖なしで自立歩行が可能な方、歩行に不安を感じ始めた方(介護保険適用外)。</p> 
<p>●歩行器型杖 (ウォーカーケイン) 支持面積が広く安定性が高い。歩行器型のためサイズが大きい。 〈対象〉立位・歩行時のバランスが悪い方(介護保険適用)。</p> 	<p>●ロフトランド・クラッチ 持ち手だけでなく、肘あたりに前腕支えがある。上肢の力を有効に使うことができる。 〈対象〉握力が弱ってきている方、身体に麻痺がある方、手が変形している方(介護保険適用)。</p> 

杖は、身体に合った長さで使用することで、正しい歩行姿勢がとれ、疲れず歩くことができます。長さを決める際は普段使っている靴を履き、肘を少し曲げた状態(30〜40度)で、持ち手を掴む位置が大転子(太ももの骨の出っ張った部分、骨盤に近い骨の部位)辺りの高さになるように調節します。

足の小指の外側15cm
辺りに杖を突いた時に、肘関節が約30度になる長さ。



杖を選ぶ際には杖先のゴムの形状にも注意が必要です。形によっては滑り止め効果を発揮しないものもあります。用途に応じた形状のものをお選びください。



安全に利用するために

杖は一度買って終わりではありません。ケガを伴うような事故も起こります。こまめなメンテナンスが必要です。

杖のチェック項目

- 杖先のゴムは劣化していないか
(亀裂や破れ、磨り減りはないか)?
- 杖の接続部分のネジは緩んでいないか
(歩行時に音がしないか)?
- 持ち手(グリップ)は劣化していないか
(緩みやべたつきはないか)?



特に杖先のゴムにおいては、最近では底面が大きく安定しやすいものや、滑り止め効果が高いものなどが販売されています。使い方によっては1年も経たずに劣化しますので、こまめに確認をしてください。

県民せいきょう福祉用具レンタル・販売事業所では、販売からレンタルまで様々な商品をご用意しております。お気軽にお問い合わせください。

福祉用具レンタル・販売事業所

お問い合わせ先
〈コールセンター〉
☎0120-016-165
(受付時間は19ページをご覧ください)



福井県「介護事業における要介護度改善促進事業」で羽水きらめきが表彰されました

福井県では2015年度から、サービス利用者の要介護度の改善に積極的に取り組む事業所を支援し、先駆的で優秀な取り組みを行ったチームを表彰しています。

2018年度は参加事業所37チーム中8チームが表彰され、見事、羽水きらめき通所介護チーム「勇往邁進」が受賞しました。

生協ケア指針『10の基本ケア』に基づき、利用者自身の「夢中になれること」の実現のために計画を立て、実践した内容(公共交通機関を使っての外出や選択型のサービスの提供、畑作業、世代間交流など)が審査員から高評価を得ました。

今後も、利用者の希望を叶えるべく、職員一同邁進していきますので、羽水きらめきをどうぞよろしくお願いいたします。



お問い合わせ先

羽水きらめき
〒918-8114 福井市羽水1丁目107番地
TEL.0776-32-6000